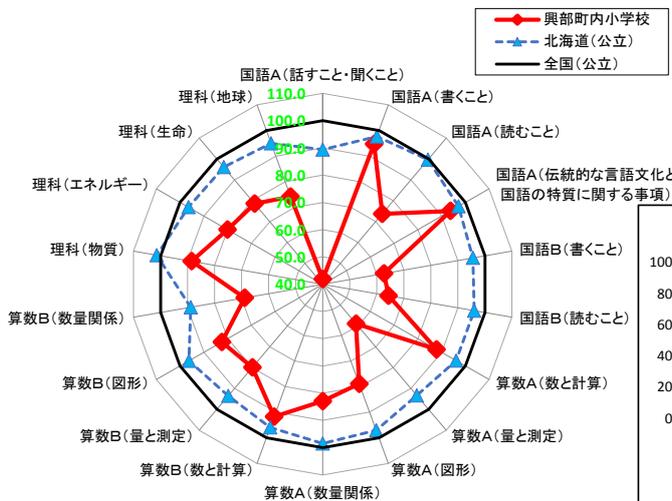


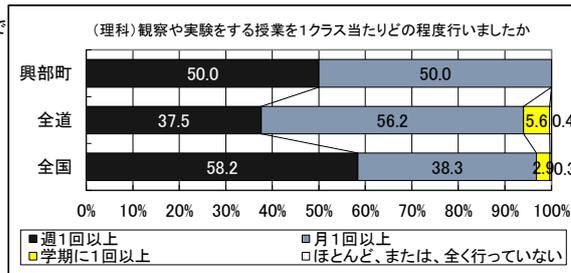
# ■ 興部町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2、児童数: 27名)

## 【教科全体の状況】

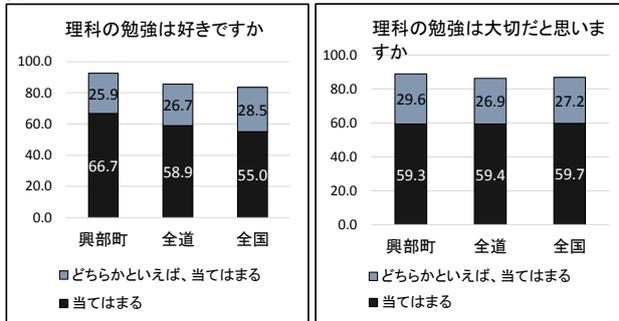
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



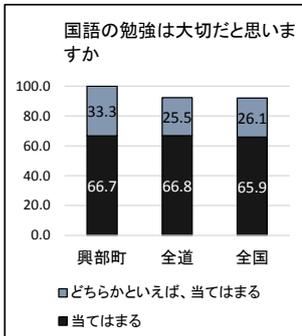
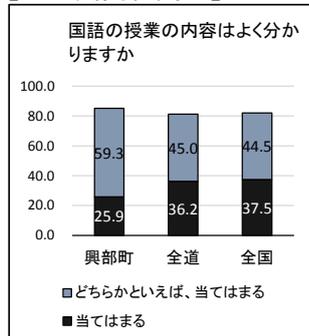
## 【学校質問紙調査】



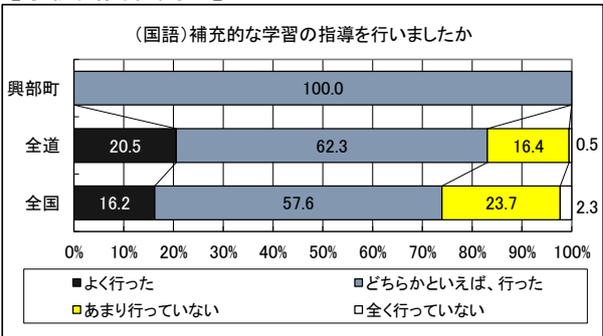
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率が、他の領域と比較して高い傾向がある。</li> <li>○ 算数AB「数と計算」の平均正答率が、他の領域と比較して高い傾向がある。</li> <li>○ 理科「物質」の平均正答率が、他の領域と比較して高い傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科において、観察や実験をする授業を行うことにより、「理科の勉強が好き」「理科の勉強は大切だと思う」児童が増え、児童の学習意欲が高まったと考えられる。</li> <li>○ 学校では国語の補充的な学習を行うことを継続しており、このことによって「国語の授業の内容が分かる」「国語の勉強が大切だ」と思う児童が増えてきていると考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「理科の勉強は好きですか」「理科の勉強は大切だと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童の割合が全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「国語の授業の内容はよく分かりますか」「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童の割合が全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科の授業において、全ての学校が月1回以上観察や実験をする授業を行ったと回答している。</li> <li>○ 国語において、補充的な指導を行った学校の割合が全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

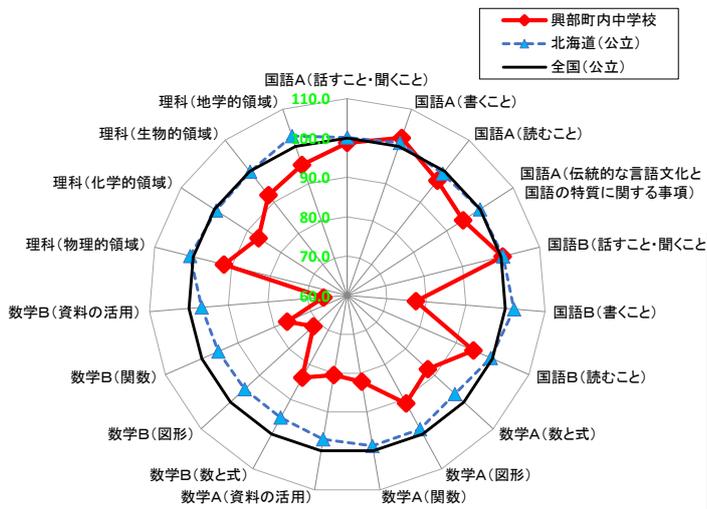
## 【興部町の学力向上策】

- ◎ 町の臨時教員の雇用による複式学級の解消
- ◎ 学生ボランティアを活用した長期休業中における補充的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力テストの実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実

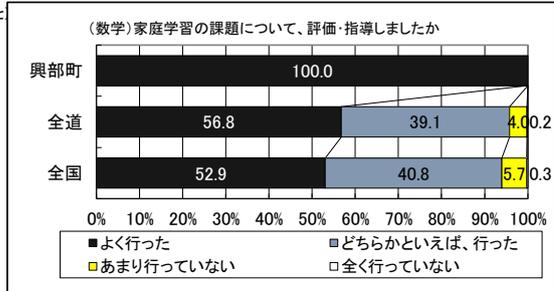
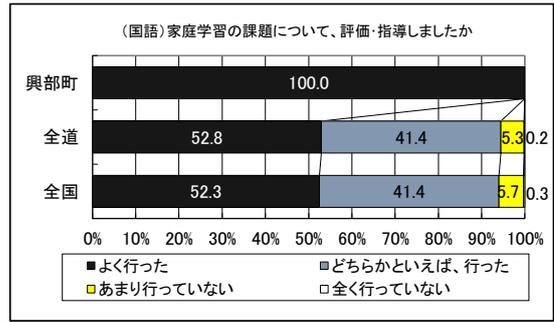
# ■ 興部町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2、生徒数: 34名)

## 【教科全体の状況】

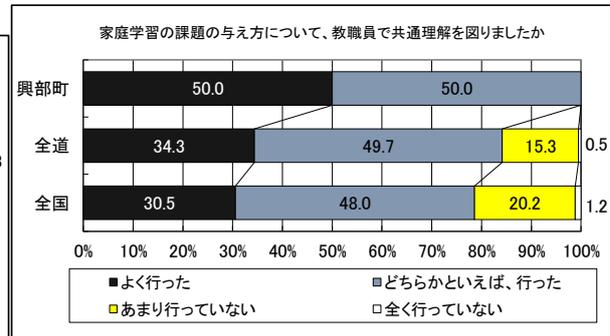
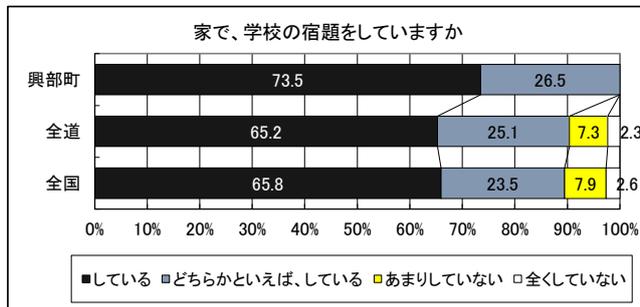
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「書くこと」で全国を上回り、国語Bでは「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。特に、意見を支える根拠の明確さについて助言する問題や、伝えたい事実を明確に書く問題の理解度が高い。</li> <li>○ 数学A「図形」の平均正答率が他の領域と比較して高い傾向がある。特に、空間における直線と平面の垂直についての理解度が高い。</li> <li>○ 理科「物理的領域」の平均正答率が他の領域と比較して高い傾向がある。特に、音の高さの実験についての問題の理解度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校が、家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図り、与えた課題について評価・指導を継続して行うことにより、生徒に家庭での学習習慣が身に付いてきており、このことが特に国語の学習内容の定着につながっていると考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、学校の宿題をしていますか」という質問に、「している」「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合が100%であり、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習の課題について、評価・指導しましたか」という質問に対し、国語・数学ともに全ての学校が「よく行った」と回答している。</li> <li>○ 「家庭学習の課題の与え方について、共通理解を図りましたか」という質問に、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【興部町の学力向上策】

- ◎ 学生ボランティアを活用した長期休業中における補足的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力テストの実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実